



第 11 回全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権  
「もうひとつの高校選手権 2025 presented by KOCHO」  
長崎県予選会 開催要項

- 1 目 的 知的障害者特別支援学校高等部の部活動の目標となる全国大会及び九州地区予選会への長崎県予選会とする。  
知的障害者のスポーツ促進、生涯学習の環境作りと推進に寄与する。
- 2 主 催 長崎県知的障がい者サッカー連盟
- 3 主 管 もうひとつの高校選手権実行委員会
- 4 後 援 日本知的障がい者サッカー連盟
- 5 協 賛 長崎国際大学（仮）
- 6 期 日 令和 7 年 9 月 14 日（日）
- 7 会 場 長崎国際大学人工芝グラウンド（長崎県佐世保市ハウステンボス町 2 8 2 5－7）
- 8 参加資格 ①知的障害特別支援学校高等部に在学中の単独部活動チームであること。  
尚、本大会におけるチーム名は学校名とする。  
※本校＋分校を含めた複数校合同チームは不可とする。  
②令和 7 年度（公財）日本サッカー協会に登録を完了した者とする。  
③選手・スタッフ共にスポーツ傷害保険に加入していること。  
※競技会中の事故等については各チームで対処すること。  
④特定非営利活動法人日本知的障がい者サッカー連盟に加盟する都道府県に属するチームであること。  
⑤令和 8 年 1 月 24 日、25 日に開催される、第 11 回全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権「もうひとつの高校選手権 2025 presented by KOCHO」に参加可能な知的障害特別支援学校高等部であること。  
⑤1 チームの登録人数は、選手 20 名以内、役員 6 名以内とする。
- 9 参加費 1 チーム 10.000 円

- 10 その他
- ①本大会優勝校は、令和7年11月9日に沖縄県にて開催される九州地区予選会に参加する資格を得る。また、九州地区予選を勝ち抜く事で、令和8年1月24日、25日中に開催予定である。第11回全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権「もうひとつの高校選手権 2025 presented by KOCHO」への全国大会出場を九州地区理事より推薦される資格を得る。
  - ②出場選手の大会期間中の健康ならびに生活指導については各チーム監督の責任において遺漏の無いように処置すること。特に、健康管理、食生活指導については、十分留意すること。
  - ③学校及び家庭における事前の健康観察を充分にすること。
  - ④各自「健康保険証」(写)を持参すること。
  - ⑤申込書及び選手登録書(印鑑なし)を期日までにメールにて提出後、選手登録書内の学校長印が押された選手登録書を大会当日に提出すること。
  - ⑥出場選手の大会期間中の健康ならびに生活指導については各チーム監督の責任において遺漏の無いように処置すること。特に、健康管理、食生活指導については、十分留意すること。

## 競 技 規 則

(公財) 日本サッカー協会競技規則 2024/25 に準じ、実行委員会の申し合わせ、競技会規定および競技実施要綱により実施する。

参考：<http://www.jfa.jp/laws/>

## 競 技 会 規 定

### 1 競技のフィールド

フィールド表面は平坦で常緑な天然芝又は人工芝、クレーのグラウンドであり、ピッチサイズは原則 105m×68m であること。

### 2 ボール

試合球は 5 号検定球とする。

### 3 競技者の数と交代

- ①登録選手は 20 名までとし、ベンチへはその 20 名が入れる。大会エントリー用紙に登録している選手で、メンバー提出用紙に記入されている者に限る。
- ②競技者は 11 名以下 7 名以上がピッチにいて、試合をおこなうことができる。
- ③試合開始前に 11 名の先発選手と 9 名以内の交代要員の氏名と背番号をメンバー表にて通告しておき、そのうち 5 名までが試合の停止中に主審の許可を得て交代できる。
- ④交代した選手が再度ピッチに入ることは可能であるが、ただし別選手の 1 名としてカウントする。
- ⑤てんかん等の発作による交代は別枠として常時可能とするが、交代した選手は当該試合に出場できない。(この場合は 6 名以上の交代が可能になる)

### 4 役員の数

ベンチには 6 名まで入れるがテクニカルエリアには 1 名のみ入れることができる。

### 5 警告

大会中、2 回の累積警告を受けた競技者は、次の 1 試合に出場できない。

大会中、退場処分を受けた選手は、次の 1 試合に出場できない。

### 6 ユニフォーム

原則として (公財) 日本サッカー協会ユニフォーム規定に基づいたユニフォームを使用しなければならない。

参考：<http://www.jfa.jp/documents/pdf/basic/br22.pdf>

正・副 2 色を用意し、監督者会議（MCM）で当該チーム監督及び審判の協議により着用ユニフォーム（ビブス）を決定する。

アンダーシャツやスパッツを着用する際は、それぞれユニフォームやパンツと同色を使用すること。（ソックスと同色ではない）

## 7 試合形式

①試合時間 40 分（前・後半 20 分）

②ハーフタイムのインターバル

原則として 10 分（前半終了から後半開始まで）

③試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合）

PK 方式（5 人）により勝者を決定する。

決勝は 20 分（前・後半 10 分）の延長戦を行い、なお決しない場合は PK 方式により勝者を決定する。

延長戦に入る前のインターバルは 5 分間

PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間

④競技中必要に応じて、前後半に 1 回ずつ給水タイムもしくはクーリングブ레이크を設ける。

実行する際は、試合前に審判より各チームに通知すること。

## 8 その他

競技中、選手に不測の事態が生じたり、介助を必要としたりする時などは、主審にその旨を伝え指示をあおがなければならない。主審が認めた場合のみ、最大 2 名のピッチへの入場を許可される。

## 競 技 実 施 要 綱

### 1 開・閉会式

- ①開会式は行わない。
- ②閉会式(表彰式)は決勝戦終了後に行う。

### 2 招集

- ①試合毎に、メンバー表（11名の出場選手と9名の交代選手）を試合開始30分前までに、競技本部に提出する。用紙は、指定の様式を使用すること。  
合わせてユニフォームの確認も行う。
- ② 召集時刻は、原則として試合開始5分前に本部テント前に集合し、審判によるチェックを行う。

### 3 各試合へのメンバー登録（メンバー表提出）後、「試合開始までの時間」に、けがや発作等の特別な理由により、登録された選手が当該試合へ出場することが不可能であると当該試合競技責任者が判断した場合のみ、下記項目に従って登録内容を変更することができる。

- ① 先発選手の場合、交代要員（控え選手）を先発選手に変更することができる。
- ② 上記で退いた当該選手の当該試合への出場は認められない。
- ③ 「試合開始までの時間」とは、キックオフ時間に支障がないことを前提とする。

### 4 監督者会議 各試合の1時間前に監督者会議（MCM）を行う、詳細な試合開始時間の決定、審判員の確認、出場選手の確認、ユニフォームの確認、試合会場の安全の確認（安全が確保できなければ試合の中止を決定できる）を行う。

### 5 その他

- ① ベンチは、組合せ表の番号が若いチームをピッチに向かって左側とする。
- ② 競技場内では、選手、監督、コーチ、大会役員、競技役員、実施本部員及び主催者が認めた関係者（マスコミ等）以外入場することができない。（ただし、付添者については、別途考慮することがある。）
- ③ 大会参加者の大会開催中における傷病、競技中のけがについては、本部にて応急処置を行う。病院への搬送等については各チームで行う。傷害保険には、チームで必ず加入すること。（病院の紹介は行います。）
- ④ 雨天時の取り扱い…原則として実施する。  
荒天等により試合時間の変更や中止となった場合は、本部より各チームの連絡担当者へ午前6時までに連絡をする。
- ⑤ 大会要項に規定されていない事項については実行委員会において協議の上決定する。

### 6 表彰 優勝・準優勝・3位・4位までを表彰し公式記録とする。